の皆様に、心から敬意と感

開 会

0)

辞

福井県池田町長

全国大会実行委員会 委員長



うか最後までご協力 も、我々道路利用者 をお願い申し上げる ございますけれど 次第でございます。 そして、今大会で います。

ありがとうございます。ど の対策、さらに交通安全対 老朽化対策、あるいは渋滞 も大きな課題ではございま 策、これらの向上を図るこ といたしましては、 道をつなぐこと

と共に、全国各地から大変

様のご出席をいただきます

今日、本大会ご来賓の皆

大勢の皆様方に、ご来県、

ご出席いただきまして誠に

願い申し上げる次第でござ 関係の所課題解決に向けて 力を合わせていくことをお ないかと思っております。とも我々の大切な業務では 源の確保とともに、 の使命だと思います。今日 大会、 力を合わせて 道路財 お集まりの皆さんと共に今 確保というのが我々の最大 しては、やはり道路財源の そういった意味におきま 道路の

うぞよろしくお願いしま 大会を開催いたします。 会議第75回全国大会福井県 それでは全国道路利用者

> 福井市で開催されますこと 議第75回全国大会が、ここ

来賓 挨 拶

点におきましても、いわゆ

皆様のご活躍を支援する観

また、日本経済を支える

迎をいたします。この度の 井県民を代表して心から歓

国土交通大臣代理 国土交通省 道路局次長

と捉え、ドライバーの確実

2024年からの問題 る [2024年問題] を

な休憩機会の確保、省人化

お祝いし、一言ご挨 れますことを心から 全国大会」が開催さ 路利用者会議第75回 において、「全国道

道 路

古賀最高顧問、佐藤会長 全国からお集ま 画」が策定されたところで 次国土強靱化実施中期計 目指し、本年6月に「第1 しない強靱な国土づくりを 生しております。災害に屈 地で豪雨等による災害が発 ござい ます。 推進してまいります。 ネットワークの機能強化を 4車線化など、幹線道路

あわせて、トラック、バ と要求していき、高規格道 路ネットワークの整備や老 朽化対策等の抜本的対策を 関係予算についてしっかり 実施中期計画を踏まえた

すこと、この場をお借りし、 路行政に対しまして、ご理 りの皆様には、日頃より道 改めて厚く御礼申し上げま 解・ご支援を賜っておりま

経済・国民生活を支える、 様をはじめ、我が国の社会 いております全ての関係者 大事な役割を担っていただ ス、タクシーなど業界の皆 含め、防災・減災・国土強

はじめに、本年も全国各 拶を申し上げます。 本日、ここ福井市 備推進、暫定2車線区間の 格道路のミッシングリンク の移動の確保に向け、高規 全・安心で円滑な人やモノ を進めていくとともに、安 バーの労働環境改善の取組 クの利用促進など、ドライ のためのダブル連結トラッ 重要物流道路の整

長を始め、本日お集まりの

議員の先生方、また国土交 ます。さらには県選出国会 者の皆様に深く敬意を表し 文池田町長をはじめ、関係 実行委員会委員長の杉本博 古賀誠最高顧問、全国大会 されました佐藤信秋会長、 大会開催にあたり、ご尽力

めていく必要があります。

政の推進に格別のご支援と 皆様方には日頃から道路行

来賓挨

拶

橋本左内先生、そして昭和

平春嶽侯や開国派の俊英、

名の朝倉氏、幕末維新期に

四賢侯の1人と言われた松

月 福井市副市長

内閣総理大臣など、我が国 初期には、岡田啓介第31代

の発展を支えた多数の人材

可欠です。 皆様の力強いお力添えが不 りません。そのためには、 な予算を確保しなければな 高対策を含め、解決に向け る課題、資材高騰等の物価 ては、これまで以上に必要 道路整備に関して山積す

(第3種郵便物認可)

靱化の取組を促進してまい を賜りながら、国民の皆様 国土交通省としまして 皆様方の幅広いご意見 りに取り組んでまいります ので、なお一層のご理解・ ご支援を賜りますようお願 に屈しない強靱な国土づく

会が盛大に開催されますこ

れ、極めて有数の大都市、

多くの貴族を受け入

す。本日は佐藤会長、古賀

回全国大会の開催にあたり

全国道路利用者会議第75

古代国家の成立時期に

ら歴史の表舞台にあ は約1500年前か とを心から歓迎申し 市で開催されますこ ますとともに、福井

囲まれた厳しい自然環境に

その背景には、山と海に

ありながらも、福井の人々

を排出してまいりました。

さて、ここ福井市

言ご挨拶を申し上げま

ホドノオウ、後の継体天皇 福井の産業の礎を築いたヲ

最高顧問をはじめ、ご来賓

室町時代後期に戦乱の京都 でございます。それから、

らに他なりません。

来賓挨 拶

美央 福井県副知事



ご協力を賜り深く感 発生した能登半島地 さて、昨年1月に

いても、中部縦貫自動車道 らためて道路ネットワーク 県においても、本年3月に たところであり、本県にお めとなり、地域経済に大き 発生し、約4ヶ月間通行止 おいて大規模な土砂災害が 興の妨げとなりました。本 幹線道路の整備を早期に進 の4車線化や国道8号など の機能強化の重要性を感じ な影響を及ぼしました。あ 国道158号の岐阜県境に 被災地の早期復旧・復 震では、多くの幹線 命救助や救援物資輸 道路が寸断され、 く残されております。道路 いて取り組むべき課題が多 皆様方と一体となって関係 の無電中化など、全国にお で、皆様方のご支援・ご協 ます。本県としましても、 額確保していく必要があり 化予算も含め、長期安定的 成長に大きく貢献するもの 整備はいずれも日本全体の 各所に求めてまいりますの に必要な道路関係予算を満 であり、今後とも国土強靱

す。また全国各地からお越

からお祝いを申し上げま

しくださいました皆様に福

代替性の確保などが待った り、また南海トラフ地震に 害が激甚化・頻発化してお 格道路の整備やミッシング 国土強靱化の観点から高規 全国的に見ても近年、風水 リンクの解消、4車線化、 も備える必要があります。 しの状況となっておりま

また、通学路などの交通安 全対策、緊急輸送道路など ンネルなどの老朽化対策や さらには、道路の安全安

また、国土交通省の皆様に どの観光地に足を運んでい を利用して、恐竜博物館や 機会に福井県の魅力に触れ ど、食や伝統工芸品も豊富 ただいております。新鮮な 大本山永平寺、 訪れており、駅からは道路 陸新幹線が敦賀まで開業 にございます。是非、この 魚介類やそば、越前和紙な 本県では、昨年3月に北 全国から多くの方々が 三方五湖な

す。

安心して道路空間を利用できるよう、安全 な走行空間の確保に向け、計画的な老朽化 対策を推進すること

制度としつつ、事業者向け割引を継続する

衆議院議員、石川2区、当

佐々木紀国土交通副大臣

選5回、51歳

吗 51 歳

||参議院議員、山梨、当選| 永井学国土交通大臣政務官

め、令和七年度補正予算を速やかに編成するこ 満額確保すること。また、道路施策の推進のた により、令和八年度道路関係予算は、 対応しながら計画的かつ長期安定的な道路整備 ・管理が進められるよう、新たな財源の創設等 に対応する中でも、山積する道路整備の課題に これらの項目も踏まえ、資材価格などの上昇

令和七年十月二十三日

第七十五回全国大会 全国道路利用者会議

淵

演

会

は、本日お越しになってい が進取の気性を持って、常 繋ぐ存在として機能したか 人、物、金、情報、

思想を 人を育んだのは、道路が からであり、こうした福井 に外と繋がろうとしてきた そして、現在の福井市 を緊密につなぐ中部縦貫自 も整備されることになり、 れでこれまでの南北幹線道 動車道が、令和11年に開通 今後さらに多くの人の交流 路軸に加え東西幹線道路軸 する運びとなりました。こ 道こそ知恵と志しと財 野 が地域の未来につがる大き が地域の未来につがる大き 解、促進に務めるとともに 好解、促進に務めるとともに 対 解、促進に務めるとともに 対 が地域の表来につがる大き が が しょう に、道路 で が は の 皆様と心を 1 つに、道路 め、道路行政に携わる多く本日お集まりの皆様をはじ を育む礎なり」、今後 組んでまいります。

次に掲げる項目を計画的かつ着実に実現する

10月21日に高市内閣が発足した。

決

議

局市内閣発足

حے

すようお願い申し上げま も引き続きご指導を賜りま

国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予

ワークの強化を図ること

させ、国内投資拡大につながる道路ネット 力を取り戻すため、我が国の生産性を向上 厳しい国際競争の中、日本全体の経済の活

加藤竜祥氏、永井学氏、上田英俊氏が就任した。 は佐々木紀氏、酒井庸行氏、国土交通大臣政務官には 国土交通大臣には金子恭之氏が、国土交通副大臣に

常道路予算とは別枠で満額確保すること 響を適切に反映した必要な予算・財源を通 算について、今後の人件費等の高騰等の影

衆議院議員、熊本4区、

. 当

衆議院議員、長崎2区、当

選2回、45歳

加藤竜祥国土交通大臣政務官

金子恭之国土交通大臣

選9回、64歳

経済活動の生産性向上やカーボンニュート 能の強化を推進すること ラル推進を図るため、

高速道路料金について、利用に応じた料金 強化、中継物流拠点の整備及び交通結節機 対策の実施、道の駅などの休憩施設の機能 利用者目線での渋滞

回 73 歳 酒井庸行国土交通副大臣

参議院議員、愛知、当選3 | 衆議院議員、富山2区、当

選2回、60歳



福井工業大学教授 FUTまちづくりデザインセンター長













